

# 2023 患サポ通信

1月 - ささえちゃん便り -

第105号



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は地域の医療機関の皆様には、御支援・御協力をいただき感謝を申し上げます。

当院患者サポートセンターでは、患者さんがいつでも最新の医療、継続性のある適切な医療を受けることができ、安心して療養生活を過ごしていただくために、地域の医療機関との連携を図っております。

そこで地域の医療機関の皆様にご理解いただき、より多くの患者さんに当院での医療を受けていただけますよう、今月号から、当院各科・各部の特色、取組について紹介を行ってまいります。

## 循環器内科



当科では、循環器疾患全般における最先端治療を行っております。

近年、重症弁膜症に対するカテーテル治療に積極的に取り組んでおります。今までは、併存症や高齢のため開胸手術を諦めざるをえなかった大動脈弁狭窄症の患者さんへ、カテーテルを用いて大動脈弁に人工弁を留置する経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を行っております(図1)。



A) TAVI用生体弁を拡張する様子

B) TAVI弁留置後

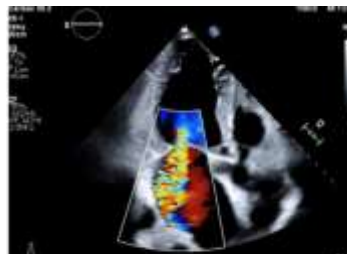
図1

また、薬物療法で心不全コントロールがつかない重度僧帽弁閉鎖不全症の方には、クリップを僧帽弁弁尖に留置することで僧帽弁逆流を減らす経カテーテル的僧帽弁接合不全修復術(TMVr)を行います(図2)。

その他、心房中隔欠損症、卵円孔開存症に対するカテーテル治療も積極的に行っております。



A) 僧帽弁前尖と後尖をクリップで挟む様子



B) 心エコー(治療前)



C) 心エコー(治療後)  
治療により僧帽弁逆流が減少している

図2

【循環器内科】

## 乳腺外科



乳腺外科では、6名のスタッフで乳腺悪性腫瘍を中心とした乳腺疾患全般の診療を行っております。本邦では女性の癌の罹患者数では乳癌が最も多く、9~10人に1人が生涯に罹患するとされており、罹患者数は増加の一途をたどっています。

福島県の乳癌診療の質を維持するために2016年11月の講座開講以来、関連施設も含めて7名の乳腺専門医を輩出しており、2022年4月からは乳腺外科専門医カリキュラムの福島県唯一の専門研修基幹施設として、新たな乳腺外科専門医育成の中心的な役割を担っています。診療・研究のみならず、市民公開講座や教育機関への出張講義によるがん教育や啓発活動にも力を入れており、対がん協会が主催するチャリティー活動であるリレー・フォー・ライフに乳腺外科チームで参加するなど社会活動にも積極的に取り組んでいます。

乳腺外科に求められる様々な期待に応えられるように、今後も魅力ある講座づくりを実践していくとともに、外部への情報発信についても益々力を入れて参りたいと思います。

【乳腺外科】

次のページは放射線治療科、がんゲノム医療診療部の紹介です

## 放射線治療科



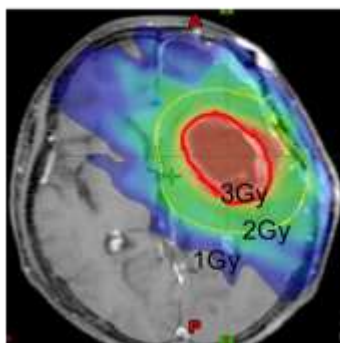
放射線治療機器の進歩により、強度変調放射線治療(IMRT)や定位照射といった、“高精度放射線治療(ピンポイント治療)”の普及が急速に進み、これまでより多くの放射線量を、安全に照射できるようになりました。これにより、1回の照射線量を増やし、治療回数を減らす、“治療の短期化(寡分割化)”が進んでいます。

現在では、例えば、小さな脳腫瘍であれば1回(20分)、早期の肺がんであれば4回(4日)、前立腺がんでもこれまでの約半分(20回・4週間)で治療することが一般的です。また、基本的に、通院で治療が可能ですので、仕事や家庭の事情などで入院ができない患者様でも、通常の治療が可能です。また、近年では、免疫療法と併用すると、免疫療法・放射線治療の両方の効果が増強することが明らかになりつつあり、当院でも積極的に施行しておりますのでご相談ください。

【放射線治療科】

強度変調放射線治療(脳腫瘍)

定位照射(転移性肺腫瘍)



## がんゲノム医療診療部



がんゲノム医療は、遺伝子情報に基づくがんの個別化治療の1つです。

当院は福島県で唯一のがんゲノム医療連携病院であり、がん遺伝子パネル検査を行うことができます。

がん遺伝子パネル検査の対象となる患者さんは、

- ①標準治療がない固形がん
  - ②局所進行もしくは転移があり、標準治療が終了した(終了見込みを含む)固形がん
- の方で、次の新たな薬物療法を希望する場合に検討します。

2021年には「FoundationOne® Liquid CDx」が保険承認され、当院でも導入しました。血液検体のみで検査が可能ですので、これまで組織が古くて検査ができなかった患者さんや組織の生検が困難であった患者さんでもがん遺伝子パネル検査が受けられるようになりました。

がん遺伝子パネル検査をご希望の患者さんがおられましたら、ご紹介を宜しくお願いいたします。詳細は以下のがんゲノム医療診療部 HP をご覧ください。

[https://www.fmu.ac.jp/byoin/new/sosiki/gangenomu\\_iryosinryobu.html](https://www.fmu.ac.jp/byoin/new/sosiki/gangenomu_iryosinryobu.html)

【お問合せ窓口】 がん相談支援センター

電話番号:024-547-108

月曜日～金曜日、8:30～17:00(祝日・年末年始を除く)



今月号では、循環器内科、乳腺外科、放射線治療科、がんゲノム医療診療部の4つについて紹介させていただきました。

次号からも引き続き各科、各部の紹介を行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

【発行元】公立大学法人福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンター

〒960-1295 福島市光が丘1番地 TEL:024-547-1885(直通) Email:tourokui@fmu.ac.jp